

大阪湾や河川敷等におけるごみの組成調査結果について

1. 目的及び業務概要

大阪府内における河川ごみ等の実態把握を目的とし、府内8箇所でごみ組成調査を実施した。

2. 調査時期及び調査地点

表-1 ごみの組成調査概要

調査対象とするごみ				調査時期	
インフラ管理者 が回収するごみ	海域	港湾の清掃業務（清掃船で回収）	(1)	大阪港	8月
					10月
			(2)	堺泉北港	2月
					8月
	河川等	河川水面の清掃業務（清掃船で回収）	(3)	大阪市内河川	10月
					2月
		農業用水路の管理業務（スクリーンで回収）	(4)	長瀬川（農業用水路）	10月
		河川敷の散乱ごみ（本調査で回収、延長100m×幅 20mの範囲）			(5)
			(6)	大和川	
			(7)	西除川	
海岸漂着ごみ（本調査で回収、汀線方向の幅50m）			(8)	岬町淡輪付近の海岸	12月

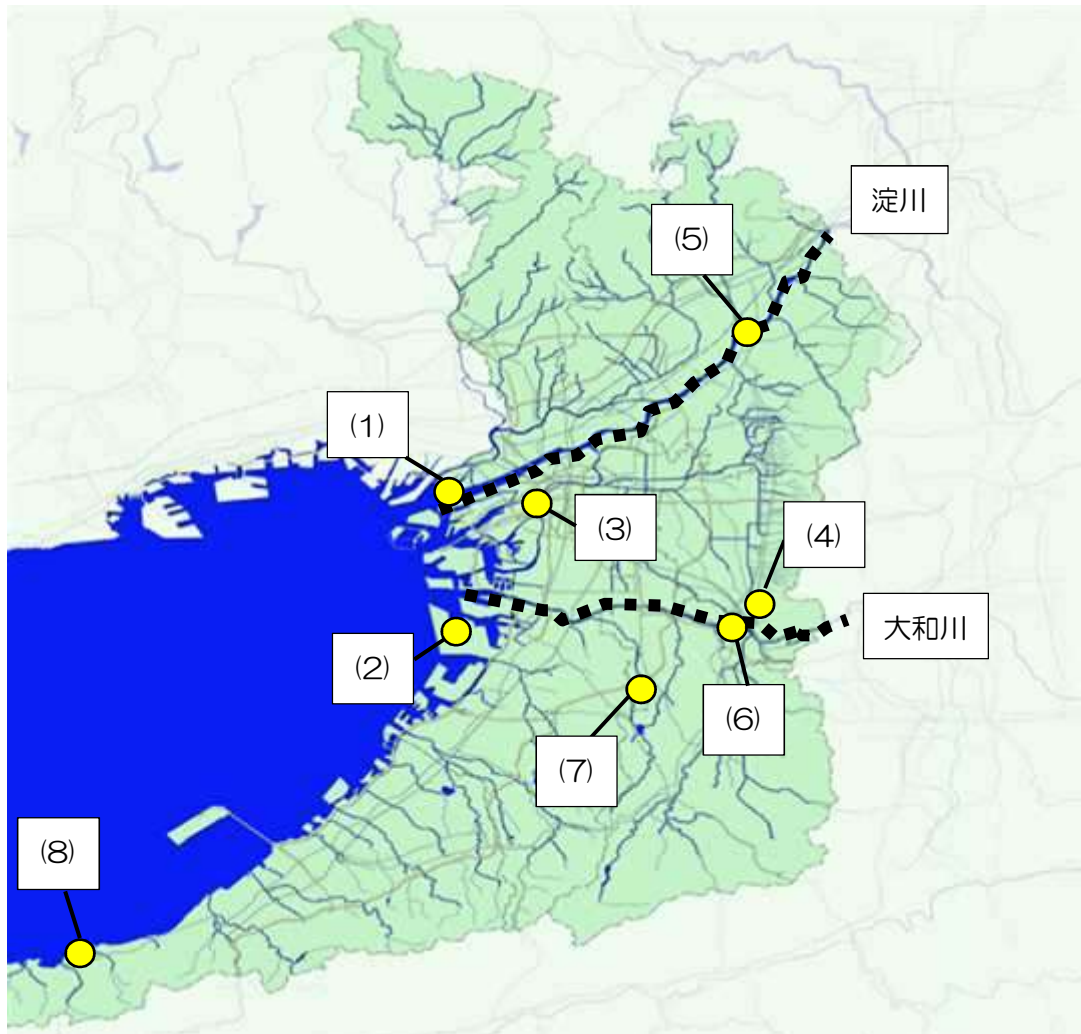


図-1 組成調査箇所位置図

3. ごみの回収状況等写真

○港湾の清掃業務(1)(2) 写真左：回収作業 写真右：ごみの引き上げ状況



○河川水面の清掃業務(3) 写真左：網場（河川内の浮遊ごみを集める施設）写真右：回収状況



○スクリーンのごみの滞留状況(4)



○河川敷のごみの散乱状況(5)(6)(7)

写真左：河川敷に落ちているごみ 写真右：灌木に引っかかったごみ（ごみの花）

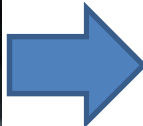
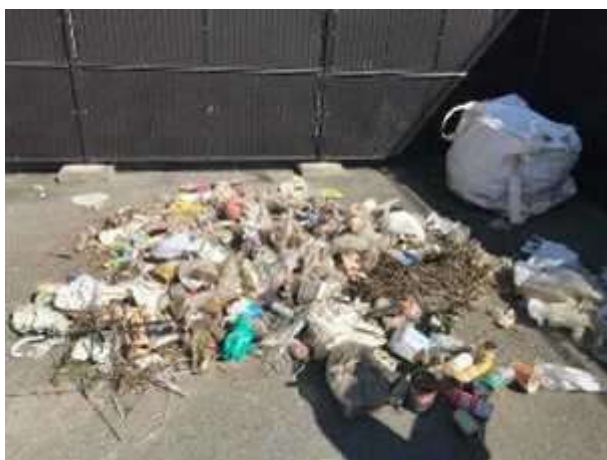


○海岸のごみの漂着状況(8)



3. 調査方法

- 調査地点で回収されたごみの中で、長さ 2.5cm 以上のごみを調査対象として回収する。
- 回収したごみを環境省指定の分類表に基づいて分類し、個数、重量、容積を調査する。



写真左：ごみの回収状況 写真右：分別したごみの個数、重量、容積の調査状況

漂着ごみ データシート①

都道府県名: _____
 実施者: _____
 調査箇所: _____
 調査実施日: _____年 _____月 _____日 ~ _____月 _____日
 調査開始時刻: _____時 _____分
 調査終了時刻: _____時 _____分
 回収作業人数: _____人

調査箇所の奥行き: _____ m
 海岸基質: 砂浜 礫浜 磯浜 その他(_____)
 調査地点 中心点: N _____ E _____
 ※小数点第2位まで記載(例: N 35.00、E 135.00)
 清掃: 3ヶ月以内に実施 1年以内に実施
 台風・豪雨: 1ヶ月以内 3ヶ月以内
 重機の使用: 無 有 (バックホウ 台、ユニック 台 その他(_____)
 奥行き方向の回収範囲 全範囲 一部範囲 (_____ m)

大分類	必須項目	個数	容積(L) ※	重量(kg) ※	
プラスチック	ボトルのキャップ、ふた				
	ボトル	飲料用(ペットボトル) < 1L			
		その他のプラボトル < 1L			
		飲料用(ペットボトル) ≥ 1L			
		その他のプラボトル類 ≥ 1L			
	ストロー				
	マドラー、フォーク、ナイフ、スプーン等				
	食品容器(ファーストフード、コップ、ランチボックス、それに類するもの)				
	ポリ袋(不透明、透明)				
	ライター				
	シリンジ、注射器				
	テープ(荷造りバンド、ビニールテープ)				
	シートや袋の破片				
	硬質プラスチック破片				
	ウレタン				
	浮子(ブイ)(漁具)				
	ロープ・ひも(漁具)				
	アナゴ筒(フタ、筒)(漁具)				
	カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)(漁具)				
	カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)(漁具)				
漁網(漁具)					
その他の漁具(漁具)					
マスク					
その他					
発泡スチロール	コップ、食品包装				
	発泡スチロール製フロート、浮子(ブイ)				
	発泡スチロールの破片				
	発泡スチロール製包装材				
その他					
ゴム	ゴム				
ガラス、陶器	ガラス、陶器				
金属	金属				
紙、ダンボール	紙、ダンボール				
天然繊維、革	天然繊維、革、マスク				
木(木材等)	木(木材等)				
電化製品、電子機器	電化製品、電子機器				
自然物	自然物				
その他	その他				

※ 少なくとも「個数及び容積(L)」または「個数及び重量(kg)」を計測する。可能であれば、「個数・容積(L)・重量(kg)」すべて計測する。

図-2 組成調査用のデータシート(抜粋)

4. 調査結果

府内8箇所のごみ組成調査結果は以下のとおり。

表-2 ごみの組成調査結果（容量ベース）

調査対象とするごみ				調査時期	容量ベース				
					自然物と人工物の割合		人工物の中のプラスチックごみ割合		
		自然物	人工物						
インフラ管理者が回収するごみ	海域	港湾の清掃業務（清掃船で回収）	(1)	大阪港（大阪市清港会）	8月	85%	16%	93%	
					10月	70%	30%	59%	
					2月	72%	28%	65%	
		堺泉北港（大阪府清港会）	8月	85%	15%	92%			
			10月	82%	18%	38%			
			2月	49%	51%	72%			
	河川等	河川水面の清掃業務（清掃船で回収）	(3)	大阪市内河川	8月	91%	9%	74%	
					10月	50%	50%	92%	
					2月	55%	45%	62%	
		農業用水路の管理業務（スクリーンで回収）	(4)	長瀬川（農業用水路）	10月	85%	15%	77%	
河川敷の散乱ごみ（本調査で回収、延長100m×幅 20mの範囲）			(5)	淀川	10月	97%	3%	80%	
						大和川	80%	20%	91%
						西除川	81%	19%	90%
海岸漂着ごみ（本調査で回収、汀線方向の幅50m）			(8)	岬町淡輪付近の海岸	12月	68%	32%	71%	

- ・自然物とは、主に流木(径 10 cm以上又は長さ 1m 以上のもの)や灌木(径 10 cm未満かつ長さ 1m未満のもの)等をいう。なお、環境省の様式上、流木の個数はカウントし、灌木の個数はカウントしないこととされている。
- ・岬町淡輪付近の海岸については、直近で環境省が H30 年度に同地点を調査しており、R2 年度、R3 年度に府も調査を実施している。

4-1 港湾の清掃業務で回収するごみの組成調査

堺泉北港湾区域を管理する「大阪府清港会」、大阪市港湾区域を管理する「大阪市清港会」にて、清掃船が回収するごみ（7 m³/ 箇所）を対象に組成調査を実施した。



大阪府清港会の清掃船



回収されたごみ

(1) 分類別の組成、人工物の組成

- ・大阪府清港会では、自然物の容量別でみると、8月はごみ全体の約 85%、10月は約 82%を占め、2季ともに人工物より多くなったが、2月は人工物と自然物の割合はほぼ同程度であった。
- ・大阪市清港会は3季ともに自然物が多くなり、容量別でみると、8月が最大で約 85%を占めていた。
- ・人工物の大分類でみると、大阪府清港会の 10月以外は「プラスチック・発泡類」が容量別の割合で最も多く、大阪府清港会の8月が最大で約 93%を占めていた。
- ・3季で比較すると、大阪府清港会、大阪市清港会ともに容量別の割合で8月が最も多かった。

表-3 2分類別の組成表（港湾の清掃業務）

項目	大阪府清港会								
	8月			10月			2月		
	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
人工物	77.3 (12.8%)	1,060.9 (15.1%)	886 (99.3%)	69.4 (29.8%)	1,300.7 (17.6%)	1,245 (98.1%)	181.2 (51.6%)	3,567.3 (50.8%)	646 (96.9%)
自然物	524.5 (87.2%)	5,987.8 (84.9%)	※6 (0.7%)	163.2 (70.2%)	6,086.4 (82.4%)	※24 (1.9%)	170.0 (48.4%)	3,460.0 (49.2%)	※21 (3.1%)
合計	601.7 (100.0%)	7,048.7 (100.0%)	892 (100.0%)	232.6 (100.0%)	7,387.1 (100.0%)	1,269 (100.0%)	351.2 (100.0%)	7,027.3 (100.0%)	667 (100.0%)

項目	大阪市清港会								
	8月			10月			2月		
	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
人工物	42.6 (7.7%)	1,091.7 (15.5%)	680 (99.3%)	98.5 (41.4%)	2,421.7 (30.3%)	1,225 (98.9%)	83.1 (37.0%)	1,999.0 (28.4%)	904 (99.1%)
自然物	512.5 (92.3%)	5,937.1 (84.5%)	※5 (0.7%)	139.5 (58.6%)	5,581.1 (69.7%)	※13 (1.1%)	141.3 (63.0%)	5,028.8 (71.6%)	※8 (0.9%)
合計	555.1 (100.0%)	7,028.7 (100.0%)	685 (100.0%)	238.0 (100.0%)	8,002.8 (100.0%)	1,238 (100.0%)	224.4 (100.0%)	7,027.8 (100.0%)	912 (100.0%)

（各項目の合計は、端数の関係により 100%にならないことがある。）

※自然物のうち「灌木」については、環境省の様式上、重量と容量のみを計測することとされているため、個数はカウントしていない。「流木」については重量、容積、個数全てを計測している。

○大阪府清港会

表-4 人工物の大分類別の組成表（大阪府清港会）

項目	大阪府清港会								
	8月			10月			2月		
	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
プラスチック・発泡類	56.9 (73.6%)	976.2 (92.0%)	803 (90.6%)	34.7 (50.0%)	494.4 (38.0%)	1,079 (86.7%)	86.2 (47.6%)	2,574.2 (72.2%)	492 (76.2%)
天然繊維・革	0.2 (0.3%)	1.5 (0.1%)	3 (0.3%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	21.0 (11.6%)	245.9 (6.9%)	2 (0.3%)
ガラス・陶器	2.1 (2.7%)	1.6 (0.2%)	16 (1.8%)	1.5 (2.2%)	1.0 (0.1%)	10 (0.8%)	1.1 (0.6%)	4.3 (0.1%)	10 (1.5%)
金属	2.8 (3.6%)	5.0 (0.5%)	18 (2.0%)	3.0 (4.3%)	11.5 (0.9%)	22 (1.8%)	4.1 (2.3%)	20.3 (0.6%)	51 (7.9%)
紙・段ボール	0.2 (0.3%)	4.7 (0.4%)	8 (0.9%)	0.7 (1.0%)	7.4 (0.6%)	10 (0.8%)	0.4 (0.2%)	5.5 (0.2%)	9 (1.4%)
ゴム	5.9 (7.6%)	24.0 (2.3%)	37 (4.2%)	3.9 (5.6%)	18.5 (1.4%)	43 (3.5%)	3.3 (1.8%)	17.2 (0.5%)	22 (3.4%)
木・木材系	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	25.6 (36.9%)	768.0 (59.0%)	81 (6.5%)	65.0 (35.9%)	700.0 (19.6%)	60 (9.3%)
電化製品・電気機器	9.2 (11.9%)	48.0 (4.5%)	1 (0.1%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
人工物合計	77.3 (100.0%)	1,060.9 (100.0%)	886 (100.0%)	69.4 (100.0%)	1,300.7 (100.0%)	1,245 (100.0%)	181.2 (100.0%)	3,567.3 (100.0%)	646 (100.0%)

項目	参考：R3大阪府清港会					
	9月			12月		
	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
プラスチック・発泡類	48.6 (48.0%)	916.5 (76.2%)	1,402 (85.4%)	42.3 (35.5%)	1,235.9 (70.3%)	721 (82.7%)
天然繊維・革	1.1 (1.1%)	36.0 (3.0%)	8 (0.5%)	0.7 (0.6%)	11.1 (0.6%)	4 (0.5%)
ガラス・陶器	2.0 (2.0%)	4.3 (0.4%)	24 (1.5%)	5.0 (4.2%)	7.1 (0.4%)	30 (3.4%)
金属	2.6 (2.6%)	16.9 (1.4%)	43 (2.6%)	6.2 (5.2%)	14.2 (0.8%)	39 (4.5%)
紙・段ボール	0.5 (0.5%)	5.1 (0.4%)	16 (1.0%)	0.7 (0.6%)	10.6 (0.6%)	18 (2.1%)
ゴム	6.4 (6.3%)	95.3 (7.9%)	36 (2.2%)	9.2 (7.7%)	61.5 (3.5%)	40 (4.6%)
木・木材系	40.1 (39.6%)	129.1 (10.7%)	113 (6.9%)	55.0 (46.2%)	418.0 (23.8%)	20 (2.3%)
電化製品・電気機器	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
人工物合計	101.3 (100.0%)	1,203.2 (100.0%)	1,642 (100.0%)	119.1 (100.0%)	1,758.4 (100.0%)	872 (100.0%)

（各項目の合計は、端数の関係により 100%にならないことがある。）

○大阪市清港会

表-5 人工物の大分類別の組成表（大阪市清港会）

項目	大阪市清港会								
	8月			10月			2月		
	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
プラスチック・発泡類	28.2 (66.2%)	1,015.9 (93.1%)	594 (87.4%)	62.4 (63.4%)	1,424.7 (58.8%)	1,117 (91.2%)	26.5 (31.9%)	1,288.5 (64.5%)	816 (90.3%)
天然繊維・革	6.7 (15.7%)	33.5 (3.1%)	18 (2.6%)	0.3 (0.3%)	3.4 (0.1%)	4 (0.3%)	2.7 (3.3%)	17.8 (0.9%)	4 (0.4%)
ガラス・陶器	1.3 (3.1%)	1.8 (0.2%)	10 (1.5%)	0.3 (0.3%)	0.2 (0.0%)	3 (0.2%)	0.5 (0.6%)	0.4 (0.0%)	3 (0.3%)
金属	1.6 (3.8%)	8.4 (0.8%)	27 (4.0%)	1.4 (1.4%)	11.5 (0.5%)	31 (2.5%)	0.9 (1.1%)	4.2 (0.2%)	13 (1.4%)
紙・段ボール	1.2 (2.8%)	11.9 (1.1%)	14 (2.1%)	0.1 (0.1%)	2.4 (0.1%)	4 (0.3%)	0.1 (0.1%)	2.5 (0.1%)	4 (0.4%)
ゴム	3.5 (8.2%)	20.2 (1.9%)	17 (2.5%)	4.0 (4.1%)	19.5 (0.8%)	31 (2.5%)	2.3 (2.8%)	13.5 (0.7%)	14 (1.5%)
木・木材系	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	30.0 (30.5%)	960.0 (39.6%)	35 (2.9%)	50.0 (60.2%)	672.0 (33.6%)	50 (5.5%)
電化製品・電気機器	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
人工物合計	42.6 (100.0%)	1,091.7 (100.0%)	680 (100.0%)	98.5 (100.0%)	2,421.7 (100.0%)	1,225 (100.0%)	83.1 (100.0%)	1,999.0 (100.0%)	904 (100.0%)

項目	参考：R3 大阪市清港会					
	9月			12月		
	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
プラスチック・発泡類	33.0 (27.4%)	1,010.4 (51.8%)	1,358 (90.1%)	34.2 (34.0%)	1,126.7 (66.4%)	1,373 (94.6%)
天然繊維・革	1.9 (1.6%)	15.3 (0.8%)	2 (0.1%)	8.4 (8.3%)	86.0 (5.1%)	6 (0.4%)
ガラス・陶器	0.8 (0.7%)	2.1 (0.1%)	5 (0.3%)	5.0 (5.0%)	0.6 (0.0%)	4 (0.3%)
金属	3.8 (3.1%)	11.8 (0.6%)	26 (1.7%)	1.1 (1.1%)	8.6 (0.5%)	24 (1.7%)
紙・段ボール	0.5 (0.4%)	4.8 (0.2%)	7 (0.5%)	0.5 (0.5%)	3.6 (0.2%)	6 (0.4%)
ゴム	4.8 (4.0%)	85.8 (4.4%)	29 (1.9%)	11.6 (11.5%)	112.0 (6.6%)	27 (1.9%)
木・木材系	76.0 (63.0%)	820.0 (42.0%)	80 (5.3%)	40.0 (39.7%)	360.0 (21.2%)	12 (0.8%)
電化製品・電気機器	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
人工物合計	120.7 (100.0%)	1,950.2 (100.0%)	1,507 (100.0%)	100.7 (100.0%)	1,697.6 (100.0%)	1,452 (100.0%)

(各項目の合計は、端数の関係により 100%にならないことがある。)

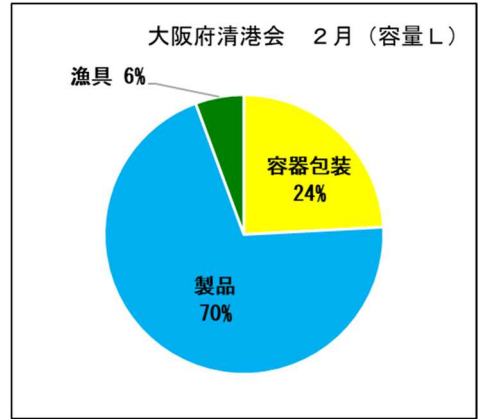
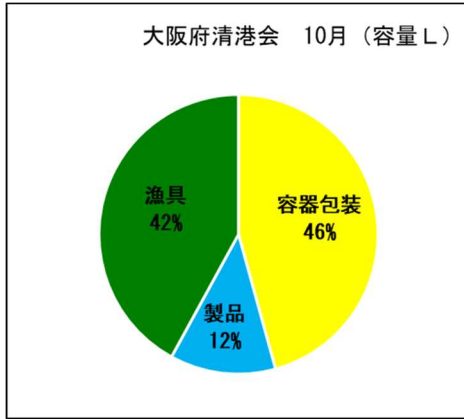
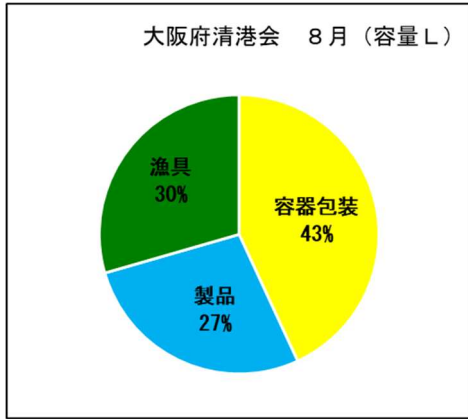
(2) プラスチック・発泡類の組成

- ・「容器包装」、「漁具」、「製品」の3項目で分類すると、昨年度と同様、2箇所ともに「容器包装」が容量別の割合で高い傾向に見られ、大阪市清港会の8月、12月が最大で約52%を占めていた。
- ・分類別の容量で見ると、昨年度と同様、2箇所ともにポリ袋が多く、大阪市清港会の8月が最大で、食品の容器包装やごみ袋等が「プラスチック・発泡類」の約27%を占めていた。また、飲料用ボトルやその他プラスチック（苗木ポッド、生活雑貨等）など、陸域で発生するごみも多く見られた。
- ・大阪府清港会の2月調査では、プラスチック製の灯油缶（200L）やブルーシート等のプラスチック製品が多く見られた。

○大阪府清港会

表-6 プラスチック・発泡スチロール類の分類別組成（大阪府清港会）

区分	分類	大阪府清港会								
		8月			10月			2月		
		重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
容器包装	飲料用ボトル	23.1 (40.6%)	71.2 (7.3%)	120 (14.9%)	19.2 (55.3%)	96.1 (19.4%)	170 (15.8%)	18.6 (21.6%)	399.0 (15.5%)	185 (37.6%)
容器包装	その他プラボトル類	1.6 (2.8%)	11.5 (1.2%)	11 (1.4%)	1.8 (5.2%)	6.2 (1.3%)	8 (0.7%)	2.5 (2.9%)	29.7 (1.2%)	22 (4.5%)
容器包装	容器類	1.8 (3.2%)	142.2 (14.6%)	290 (36.1%)	1.8 (5.2%)	52.2 (10.6%)	177 (16.4%)	2.1 (2.4%)	84.5 (3.3%)	122 (24.8%)
容器包装	ポリ袋	1.7 (3.0%)	196.0 (20.1%)	317 (39.5%)	2.4 (6.9%)	71.6 (14.5%)	662 (61.4%)	3.7 (4.3%)	108.7 (4.2%)	74 (15.0%)
漁具	漁網、ロープ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	フイ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.8 (0.9%)	7.3 (0.3%)	1 (0.2%)
漁具	発泡スチロールフイ	8.3 (14.6%)	262.5 (26.9%)	2 (0.2%)	7.6 (21.9%)	176.6 (35.7%)	1 (0.1%)	2.0 (2.3%)	96.0 (3.7%)	1 (0.2%)
漁具	その他漁具	0.7 (1.2%)	25.2 (2.6%)	※3 (0.4%)	0.2 (0.6%)	31.1 (6.3%)	※1 (0.1%)	0.9 (1.0%)	41.0 (1.6%)	※4 (0.8%)
製品	カトラリー	0.02 (0.0%)	0.2 (0.0%)	13 (1.6%)	0.02 (0.1%)	0.3 (0.1%)	17 (1.6%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
製品	その他プラスチック	19.5 (34.3%)	267.5 (27.4%)	47 (5.9%)	1.8 (5.2%)	60.3 (12.2%)	43 (4.0%)	55.7 (64.6%)	1807.9 (70.2%)	83 (16.9%)
	合計	56.9 (100.0%)	976.2 (100.0%)	803 (100.0%)	34.7 (100.0%)	494.4 (100.0%)	1,079 (100.0%)	86.2 (100.0%)	2574.2 (100.0%)	492 (100.0%)



参考：R3大阪府清港会

区分	分類	9月			12月		
		重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
容器包装	飲料用ボトル	21.0 (43.2%)	183.8 (20.1%)	219 (15.6%)	8.0 (18.9%)	22.7 (1.8%)	38 (5.3%)
容器包装	その他プラボトル類	1.2 (2.5%)	6.6 (0.7%)	14 (1.0%)	1.9 (4.5%)	12.5 (1.0%)	24 (3.3%)
容器包装	容器類	2.1 (4.3%)	134.2 (14.6%)	201 (14.3%)	3.0 (7.1%)	139.3 (11.3%)	195 (27.0%)
容器包装	ポリ袋	9.4 (19.3%)	229.8 (25.1%)	736 (52.5%)	10.3 (24.3%)	508.5 (41.1%)	309 (42.9%)
漁具	漁網、ロープ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	ブイ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	発泡スチロールブイ	1.1 (2.3%)	7.9 (0.9%)	1 (0.1%)	2.6 (6.1%)	300.3 (24.3%)	3 (0.4%)
漁具	その他漁具	1.8 (3.7%)	86.6 (9.4%)	※ (0.0%)	0.2 (0.5%)	23.6 (1.9%)	※2 (0.3%)
製品	カトラリー	0.002 (0.0%)	0.01 (0.0%)	1 (0.1%)	0.01 (0.0%)	0.2 (0.0%)	13 (1.8%)
製品	その他プラスチック	12.2 (25.1%)	267.6 (29.2%)	230 (16.4%)	16.2 (38.3%)	228.8 (18.5%)	137 (19.0%)
	合計	48.6 (100.0%)	916.5 (100.0%)	1,402 (100.0%)	42.3 (100.0%)	1,235.9 (100.0%)	721 (100.0%)

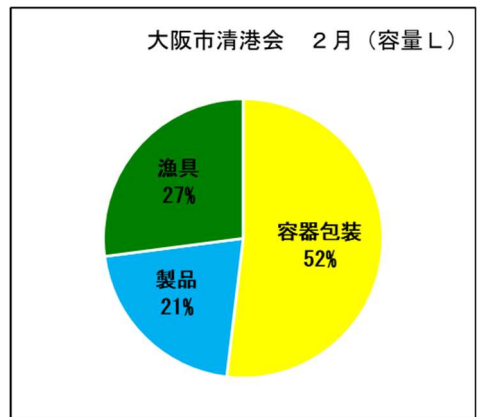
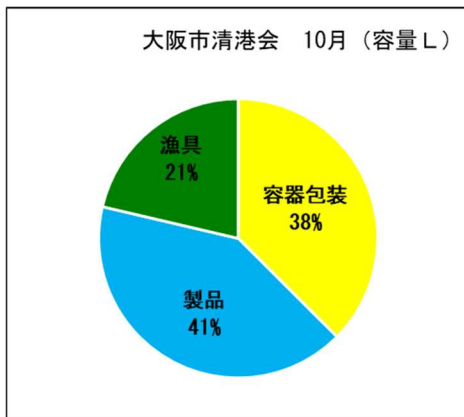
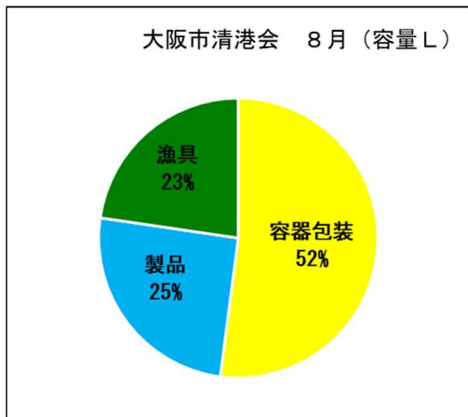
(各項目の合計は、端数の関係により100%にならないことがある。)

※その他漁具のうち「発泡スチロールの破片」は、環境省の様式上、重量と容量のみを計測することとされているため、個数はカウントしていない。

〇大阪市清港会 表-7 プラスチック・発泡スチロール類の分類別組成 (大阪市清港会)

大阪市清港会

区分	分類	大阪市清港会								
		8月			10月			2月		
		重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
容器包装	飲料用ボトル	12.9 (45.7%)	62.0 (6.1%)	105 (17.7%)	30.7 (49.2%)	166.4 (11.7%)	311 (27.8%)	8.3 (31.3%)	76.2 (5.9%)	128 (15.7%)
容器包装	その他プラボトル類	0.7 (2.5%)	0.8 (0.1%)	4 (0.7%)	1.8 (2.9%)	12.6 (0.9%)	24 (2.1%)	0.7 (2.6%)	5.3 (0.4%)	7 (0.9%)
容器包装	容器類	1.9 (6.7%)	192.4 (18.9%)	185 (31.1%)	3.3 (5.3%)	148.7 (10.4%)	312 (27.9%)	3.4 (12.8%)	260.2 (20.2%)	200 (24.5%)
容器包装	ポリ袋	4.8 (17.0%)	273.7 (26.9%)	220 (37.0%)	3.5 (5.6%)	206.3 (14.5%)	405 (36.3%)	3.6 (13.6%)	326.9 (25.4%)	419 (51.3%)
漁具	漁網、ロープ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	ブイ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	1.6 (2.6%)	7.2 (0.5%)	5 (0.4%)	1.9 (7.2%)	153.6 (11.9%)	3 (0.4%)
漁具	発泡スチロールブイ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	1.0 (1.6%)	143.3 (10.1%)	1 (0.1%)	0.3 (1.1%)	3.0 (0.2%)	1 (0.1%)
漁具	その他漁具	1.1 (3.9%)	230.6 (22.7%)	※3 (0.5%)	1.7 (2.7%)	153.7 (10.8%)	※2 (0.2%)	1.5 (5.7%)	192.1 (14.9%)	※1 (0.1%)
製品	カトラリー	0.03 (0.1%)	0.1 (0.0%)	12 (2.0%)	0.01 (0.0%)	0.2 (0.0%)	12 (1.1%)	0.003 (0.0%)	0.1 (0.0%)	3 (0.4%)
製品	その他プラスチック	6.8 (24.1%)	256.4 (25.2%)	65 (10.9%)	18.8 (30.1%)	586.4 (41.2%)	45 (4.0%)	6.7 (25.3%)	271.2 (21.0%)	54 (6.6%)
	合計	28.2 (100.0%)	1,015.9 (100.0%)	594 (100.0%)	62.4 (100.0%)	1,424.7 (100.0%)	1,117 (100.0%)	26.5 (100.0%)	1,288.5 (100.0%)	816 (100.0%)



区分	分類	参考：R3大阪市清港会					
		9月			12月		
		重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
容器包装	飲料用ボトル	18.9 (57.3%)	122.4 (12.1%)	202 (14.9%)	14.2 (41.6%)	74.8 (6.6%)	124 (9.0%)
容器包装	その他プラボトル類	0.6 (1.8%)	5.7 (0.6%)	4 (0.3%)	0.4 (1.2%)	3.7 (0.3%)	7 (0.5%)
容器包装	容器類	1.1 (3.3%)	46.5 (4.6%)	86 (6.3%)	1.4 (4.1%)	73.1 (6.5%)	91 (6.6%)
容器包装	ポリ袋	3.7 (11.2%)	302.5 (29.9%)	936 (68.9%)	6.1 (17.9%)	490.0 (43.5%)	965 (70.3%)
漁具	漁網、ロープ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	ブイ	0.9 (2.7%)	9.0 (0.9%)	2 (0.1%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	発泡スチロールブイ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.03 (0.1%)	0.2 (0.0%)	1 (0.1%)
漁具	その他漁具	0.5 (1.5%)	255.7 (25.3%)	※ (0.0%)	0.8 (2.3%)	57.1 (5.1%)	※9 (0.7%)
製品	カトラリー	0.03 (0.1%)	0.8 (0.1%)	20 (1.5%)	0.01 (0.0%)	0.1 (0.0%)	9 (0.7%)
製品	その他プラスチック	7.3 (22.1%)	267.8 (26.5%)	108 (8.0%)	11.3 (33.1%)	427.8 (38.0%)	167 (12.2%)
	合計	33.0 (100.0%)	1,010.4 (100.0%)	1,358 (100.0%)	34.2 (100.0%)	1,126.7 (100.0%)	1,373 (100.0%)

(各項目の合計は、端数の関係により 100%にならないことがある。)

※その他漁具のうち「発泡スチロールの破片」は、環境省の様式上、重量と容量のみを計測することとされているため、個数はカウントしていない。

4-2 河川水面の清掃業務で回収するごみの組成調査

大阪市内等を流れる寝屋川、第二寝屋川に浮遊しているごみの実態を調査するため、河川管理者の委託業者が清掃船で回収したごみ(7m³/箇所)を対象に組成調査を実施した。



回収されたごみ



組成調査状況

(1) 分類別の組成、人工物の組成

- ・自然物の容量別でみると、8月が最大で約91%を占め、10月と2月は50%程度であった。
- ・人工物の大分類でみると、3季ともに「プラスチック・発泡類」が容量別の割合で最も高く、10月が最大で約92%を占めていた。

表-8 2分類別の組成表(河川水面の清掃業務)

項目	大阪市水面清掃								
	8月			10月			2月		
	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
人工物	10.0 (18.1%)	94.5 (9.2%)	170 (100.0%)	28.5 (34.5%)	764.8 (49.9%)	429 (100.0%)	25.9 (51.9%)	477.7 (45.3%)	337 (100.0%)
自然物	45.3 (81.9%)	933.2 (90.8%)	※ (0.0%)	54.0 (65.4%)	768.0 (50.1%)	※ (0.0%)	24.0 (48.1%)	576.0 (54.7%)	※ (0.0%)
合計	55.3 (100.0%)	1,027.7 (100.0%)	170 (100.0%)	82.5 (100.0%)	1,532.8 (100.0%)	429 (100.0%)	49.9 (100.0%)	1,053.7 (100.0%)	337 (100.0%)

(各項目の合計は、端数の関係により 100%にならないことがある。)

※自然物のうち「灌木」については、環境省の様式上、重量と容量のみを計測することとされているため、個数はカウントしていない。「流木」については重量、容積、個数全てを計測している。

表-9 人工物の大分類別の組成表（河川水面の清掃業務）

項目	大阪市水面清掃								
	8月			10月			2月		
	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
プラスチック・発泡類	5.6 (56.1%)	69.7 (73.7%)	137 (80.6%)	13.0 (45.6%)	700.7 (91.6%)	292 (68.1%)	14.7 (56.7%)	294.3 (61.6%)	230 (68.2%)
天然繊維・革	0.02 (0.2%)	0.3 (0.3%)	5 (2.9%)	0.1 (0.4%)	0.3 (0.0%)	1 (0.2%)	1.1 (4.2%)	1.5 (0.3%)	1 (0.3%)
ガラス・陶器	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	2.6 (9.1%)	3.5 (0.5%)	15 (3.5%)	1.5 (5.8%)	2.0 (0.4%)	6 (1.8%)
金属	1.9 (19.0%)	7.0 (7.4%)	20 (11.8%)	3.3 (11.6%)	23.0 (3.0%)	70 (16.3%)	2.5 (9.6%)	21.8 (4.6%)	68 (20.2%)
紙・段ボール	0.4 (4.0%)	6.6 (7.0%)	3 (1.8%)	0.6 (2.1%)	4.7 (0.6%)	10 (2.3%)	5.0 (19.3%)	145.2 (30.4%)	25 (7.4%)
ゴム	1.6 (16.0%)	10.3 (10.9%)	4 (2.4%)	2.5 (8.8%)	13.1 (1.7%)	12 (2.8%)	1.1 (4.2%)	12.8 (2.7%)	7 (2.1%)
木・木材系	0.4 (4.0%)	0.7 (0.7%)	1 (0.6%)	6.5 (22.8%)	19.5 (2.5%)	29 (6.8%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
電化製品・電気機器	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
人工物合計	10.0 (100.0%)	94.5 (100.0%)	170 (100.0%)	28.5 (100.0%)	764.8 (100.0%)	429 (100.0%)	25.9 (100.0%)	477.7 (100.0%)	337 (100.0%)

項目	参考：R3大阪市水面清掃					
	9月			12月		
	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
プラスチック・発泡類	15.5 (69.6%)	205.5 (84.1%)	246 (74.5%)	21.4 (59.1%)	287.4 (81.5%)	532 (80.1%)
天然繊維・革	0.01 (0.0%)	0.05 (0.0%)	1 (0.3%)	2.8 (7.7%)	14.6 (4.1%)	2 (0.3%)
ガラス・陶器	1.2 (5.4%)	1.2 (0.5%)	4 (1.2%)	2.6 (7.2%)	3.1 (0.9%)	18 (2.7%)
金属	3.6 (16.2%)	24.9 (10.2%)	64 (19.4%)	3.9 (10.8%)	22.7 (6.4%)	72 (10.8%)
紙・段ボール	0.1 (0.4%)	6.3 (2.6%)	10 (3.0%)	2.6 (7.2%)	16.8 (4.8%)	30 (4.5%)
ゴム	0.5 (2.2%)	3.5 (1.4%)	4 (1.2%)	2.6 (7.2%)	7.5 (2.1%)	9 (1.4%)
木・木材系	1.3 (5.8%)	2.9 (1.2%)	1 (0.3%)	0.2 (0.6%)	0.6 (0.2%)	1 (0.2%)
電化製品・電気機器	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
人工物合計	22.3 (100.0%)	244.5 (100.0%)	330 (100.0%)	36.2 (100.0%)	352.6 (100.0%)	664 (100.0%)

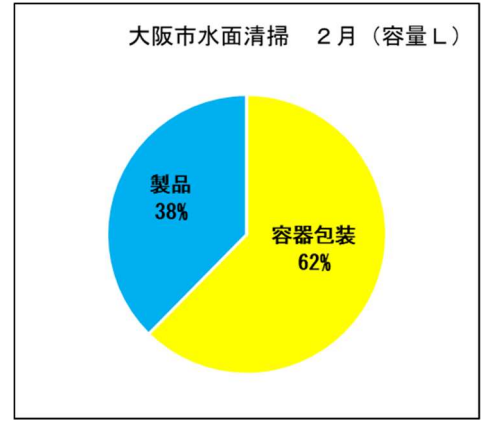
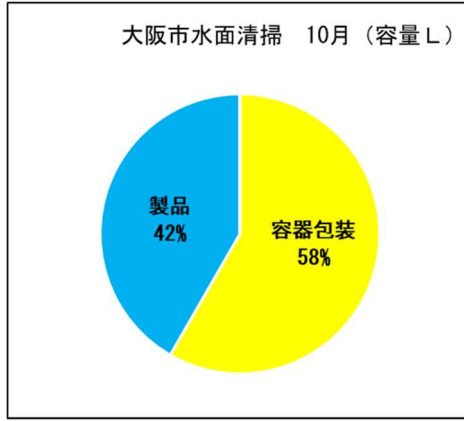
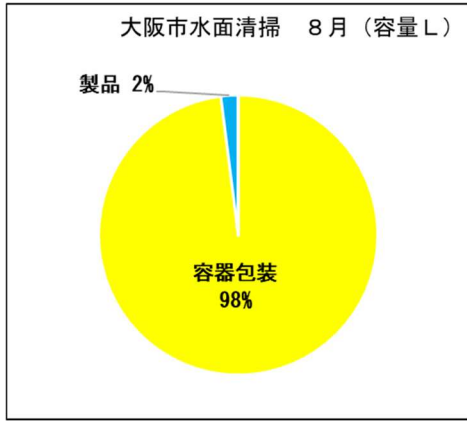
(各項目の合計は、端数の関係により 100%にならないことがある。)

(2) プラスチック・発泡類の組成

- ・「容器包装」、「漁具」、「製品」の3項目で分類すると、昨年度と同様、3季ともに「容器包装」が容量別の割合で最も高く、8月に回収した「プラスチック・発泡類」は、ほぼ全てが容器包装だった。
- ・分類別の容量でみると、8月は飲料用ボトルが最も多く、「プラスチック・発泡類」の約44%を占める結果となった。昨年度も9月調査で同様の傾向が見られたが、これは、秋・冬に比べて、暑さによる水分補給の需要が高まったことが要因と考えられる。また、10月はポリ袋が、2月は容器類が最も多くなった。
- ・10月の「その他プラスチック」は、ポリ袋（レジ袋やごみ袋）やプラスチック製品（衣装ケースやレインコート）が多く見られた。

表-10 プラスチック・発泡類の分類別組成（河川水面の清掃業務）

区分	分類	大阪市水面清掃								
		8月			10月			2月		
		重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
容器包装	飲料用ボトル	3.7 (65.6%)	30.6 (43.9%)	41 (29.9%)	4.0 (30.8%)	49.5 (7.1%)	81 (27.7%)	6.6 (44.9%)	53.0 (18.0%)	95 (41.3%)
容器包装	その他プラボトル類	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.5 (3.9%)	2.0 (0.3%)	4 (1.4%)	0.1 (0.7%)	0.1 (0.0%)	1 (0.4%)
容器包装	容器類	0.4 (7.1%)	13.3 (19.1%)	23 (16.8%)	1.2 (9.3%)	69.2 (9.9%)	46 (15.8%)	2.2 (15.0%)	83.9 (28.5%)	58 (25.2%)
容器包装	ポリ袋	1.4 (24.8%)	24.4 (35.0%)	63 (46.0%)	3.2 (24.7%)	288.0 (41.1%)	140 (47.9%)	2.0 (13.6%)	46.6 (15.8%)	60 (26.1%)
漁具	漁網、ロープ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	ブイ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	発泡スチロールブイ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	その他漁具	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
製品	カトラリー	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	2 (0.9%)
製品	その他プラスチック	0.1 (1.8%)	1.4 (2.0%)	10 (7.3%)	4.0 (30.8%)	292.1 (41.7%)	21 (7.2%)	3.8 (25.8%)	110.7 (37.6%)	14 (6.1%)
	合計	5.6 (100.0%)	69.7 (100.0%)	137 (100.0%)	13.0 (100.0%)	700.7 (100.0%)	292 (100.0%)	14.7 (100.0%)	294.3 (100.0%)	230 (100.0%)



参考：R3大阪市水面清掃

区分	分類	9月			12月		
		重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
容器包装	飲料用ボトル	12.8 (82.4%)	108.2 (52.7%)	157 (63.8%)	13.7 (63.9%)	98.3 (34.2%)	197 (37.0%)
容器包装	その他プラボトル類	0.4 (2.6%)	5.7 (2.8%)	7 (2.8%)	0.5 (2.3%)	2.8 (1.0%)	8 (1.5%)
容器包装	容器類	0.8 (5.2%)	15.3 (7.4%)	52 (21.1%)	1.4 (6.5%)	113.5 (39.5%)	75 (14.1%)
容器包装	ポリ袋	1.4 (9.0%)	74.2 (36.1%)	23 (9.3%)	4.1 (19.1%)	48.1 (16.7%)	223 (41.9%)
漁具	漁網、ロープ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	ブイ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	発泡スチロールブイ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	その他漁具	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.04 (0.2%)	1.6 (0.6%)	0 (0.0%)
製品	カトラリー	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
製品	その他プラスチック	0.1 (0.6%)	2.1 (1.0%)	7 (2.8%)	1.6 (7.5%)	23.0 (8.0%)	29 (5.5%)
	合計	15.5 (100.0%)	205.5 (100.0%)	246 (100.0%)	21.4 (100.0%)	287.4 (100.0%)	532 (100.0%)

(各項目の合計は、端数の関係により 100%にならないことがある。)

※その他漁具のうち「発泡スチロールの破片」は、環境省の様式上、重量と容量のみを計測することとされているため、個数はカウントしていない。

4-3 農業用水路の管理業務で回収するごみの組成調査

長瀬川スクリーン（大和川水系）5箇所溜まったごみの実態を調査するため、管理者が陸に引き上げたごみ（計1 m³/箇所）を対象とし、10月に組成調査を実施した。



長瀬川スクリーン

(1) 分類別の組成、人工物の組成

- ・自然物の容量別で見ると、ごみ全体の約85%を占め、人工物より多くなった。
- ・人工物の大分類で見ると、昨年度と同様に、「プラスチック・発泡類」が容量別の割合で最も高く、全体の約77%を占める結果となった。また、金属や紙・段ボールも多く見られ、スチール製飲料用缶や紙パックなども多く見られた。

表-11 2分類別の組成表（長瀬川スクリーン）

項目	長瀬川スクリーン		
	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
人工物	18.1 (16.1%)	343.1 (15.1%)	903 (100.0%)
自然物	94.2 (83.9%)	1,924.8 (84.9%)	※ (0.0%)
合計	112.3 (100.0%)	2,267.9 (100.0%)	903 (100.0%)

※自然物のうち「灌木」については、環境省の様式上、重量と容量のみを計測することとされているため、個数はカウントしていない。「流木」については重量、容積、個数全てを計測している。

表-12 人工物の組成表（長瀬川スクリーン）

項目	長瀬川スクリーン			参考：R3長瀬川スクリーン		
	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
プラスチック・発泡類	9.9 (54.8%)	262.8 (76.6%)	699 (77.4%)	17.1 (54.0%)	345.6 (88.8%)	1,033 (89.1%)
天然繊維・革	1.6 (8.9%)	13.5 (3.9%)	3 (0.3%)	1.0 (3.2%)	4.8 (1.2%)	5 (0.4%)
ガラス・陶器	0.4 (2.2%)	0.6 (0.2%)	3 (0.3%)	0.3 (0.9%)	0.3 (0.1%)	3 (0.3%)
金属	4.4 (24.4%)	45.8 (13.3%)	158 (17.5%)	0.7 (2.2%)	5.6 (1.4%)	22 (1.9%)
紙・段ボール	0.9 (5.0%)	14.2 (4.1%)	24 (2.7%)	8.1 (25.6%)	26.6 (6.8%)	81 (7.0%)
ゴム	0.6 (3.3%)	3.5 (1.0%)	3 (0.3%)	1.4 (4.4%)	4.8 (1.2%)	7 (0.6%)
木・木材系	0.4 (2.2%)	2.6 (0.8%)	13 (1.4%)	3.0 (9.5%)	1.4 (0.4%)	8 (0.7%)
電化製品・電気機器	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
人工物合計	18.1 (100.0%)	343.1 (100.0%)	903 (100.0%)	31.7 (100.0%)	389.2 (100.0%)	1,159 (100.0%)

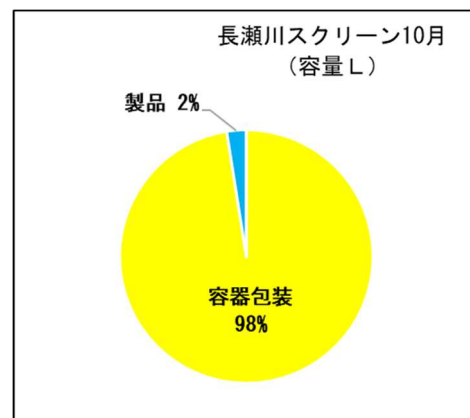
(各項目の合計は、端数の関係により100%にならないことがある。)

(2) プラスチック・発泡類の組成

- ・「容器包装」、「漁具」、「製品」の3項目で分類すると、昨年度と同様に、「容器包装」が容量別の割合で最も高く、ほぼ全てが容器包装だった。
- ・分類別の容量で見ると、昨年度と同様に、ポリ袋が最も多く、食品の容器包装やレジ袋等が「プラスチック・発泡類」の約71%を占めていた。また、容器類（食品容器）や飲料用ボトルなども多く見られた。

表-13 プラスチック・発泡類の分類別組成（長瀬川スクリーン）

区分	分類	長瀬川スクリーン		
		重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
容器包装	飲料用ボトル	2.3 (23.3%)	26.7 (10.2%)	45 (6.4%)
容器包装	その他プラボトル類	0.1 (1.0%)	0.7 (0.3%)	2 (0.3%)
容器包装	容器類	0.9 (9.1%)	41.9 (15.9%)	57 (8.2%)
容器包装	ポリ袋	6.0 (60.9%)	186.9 (71.1%)	556 (79.5%)
漁具	漁網、ロープ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	ブイ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	発泡スチロールブイ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	その他漁具	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
製品	カトラリー	0.01 (0.1%)	0.05 (0.0%)	7 (1.0%)
製品	その他プラスチック	0.5 (5.1%)	6.5 (2.5%)	32 (4.6%)
	合計	9.9 (100.0%)	262.8 (100.0%)	699 (100.0%)



区分	分類	参考：R3長瀬川スクリーン		
		重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
容器包装	飲料用ボトル	1.6 (9.4%)	19.6 (5.7%)	33 (3.2%)
容器包装	その他プラボトル類	1.4 (8.2%)	10.7 (3.1%)	11 (1.1%)
容器包装	容器類	2.2 (12.9%)	31.4 (9.1%)	128 (12.4%)
容器包装	ポリ袋	7.7 (45.0%)	220.6 (63.8%)	656 (63.5%)
漁具	漁網、ロープ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	ブイ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	発泡スチロールブイ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	その他漁具	0.2 (1.2%)	0.6 (0.2%)	※4 (0.4%)
製品	カトラリー	0.04 (0.2%)	0.3 (0.1%)	28 (2.7%)
製品	その他プラスチック	4.0 (23.4%)	62.3 (18.0%)	173 (16.7%)
	合計	17.1 (100.0%)	345.6 (100.0%)	1,033 (100.0%)

(各項目の合計は、端数の関係により100%にならないことがある。)

4-4 河川敷の散乱ごみの組成調査

淀川、大和川、西除川の河川敷にて、河川延長 100m×幅 20mのエリアに落ちているごみを対象とし、10月に組成調査を実施した。



淀川調査地点（高槻市）



大和川調査地点（藤井寺市）



西除川調査地点（堺市）

(1) 分類別の組成、人工物の組成

- ・自然物の容量別でみると、3箇所ともに人工物より多く、淀川が最大で約97%を占める結果となった。
- ・淀川、大和川については、昨年度、今年度の調査地点より下流で組成調査を行ったが、人工物の大分類でみると、昨年度と同様に、3箇所ともに「プラスチック・発泡類」が容量別の割合で最も高く、大和川が最大で約91%を占めていた。

表-14 2分類別の組成表（淀川、大和川、西除川）

項目	淀川			大和川			西除川		
	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
人工物	22.9 (12.2%)	203.7 (3.1%)	238 (99.2%)	17.4 (49.9%)	244.0 (20.3%)	498 (100.0%)	9.2 (31.1%)	137.6 (19.3%)	281 (100.0%)
自然物	165.0 (87.8%)	6,325.2 (96.9%)	※2 (0.8%)	17.5 (50.2%)	960.0 (79.7%)	※ (0.0%)	20.4 (68.9%)	576.0 (80.7%)	※ (0.0%)
合計	187.9 (100.0%)	6,528.9 (100.0%)	240 (100.0%)	34.9 (100.0%)	1,204.0 (100.0%)	498 (100.0%)	29.6 (100.0%)	713.6 (100.0%)	281 (100.0%)

(各項目の合計は、端数の関係により100%にならないことがある。)

※自然物のうち「灌木」については、環境省の様式上、重量と容量のみを計測することとされているため、個数はカウントしていない。「流木」については重量、容積、個数全てを計測している。

表-15 人工物の組成表（淀川、大和川、西除川）

項目	淀川			大和川			西除川		
	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
プラスチック・発泡類	10.3 (45.1%)	162.4 (79.7%)	188 (79.0%)	12.9 (74.2%)	221.8 (90.9%)	449 (90.2%)	5.0 (54.2%)	124.4 (90.4%)	238 (84.7%)
天然繊維・革	3.0 (13.1%)	18.6 (9.1%)	7 (2.9%)	0.6 (3.5%)	4.9 (2.0%)	16 (3.2%)	1.9 (20.6%)	3.9 (2.8%)	4 (1.4%)
ガラス・陶器	2.2 (9.6%)	2.6 (1.3%)	8 (3.4%)	0.1 (0.6%)	0.1 (0.0%)	0 (0.0%)	0.5 (5.4%)	0.6 (0.4%)	3 (1.1%)
金属	2.6 (11.4%)	9.0 (4.4%)	25 (10.5%)	2.3 (13.2%)	8.9 (3.6%)	28 (5.6%)	1.3 (14.1%)	6.4 (4.7%)	30 (10.7%)
紙・段ボール	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.7 (4.0%)	3.8 (1.6%)	2 (0.4%)	0.1 (1.1%)	0.8 (0.6%)	5 (1.8%)
ゴム	1.2 (5.3%)	7.4 (3.6%)	9 (3.8%)	0.8 (4.6%)	4.4 (1.8%)	3 (0.6%)	0.4 (4.3%)	1.7 (1.2%)	1 (0.4%)
木・木材系	3.5 (15.3%)	3.6 (1.8%)	1 (0.4%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
電化製品・電気機器	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
人工物合計	22.9 (100.0%)	203.7 (100.0%)	238 (100.0%)	17.4 (100.0%)	244.0 (100.0%)	498 (100.0%)	9.2 (100.0%)	137.6 (100.0%)	281 (100.0%)

項目	参考：R3淀川下流			参考：R3大和川下流		
	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
プラスチック・発泡類	14.8 (45.7%)	278.2 (77.7%)	369 (69.1%)	24.8 (55.5%)	286.7 (68.3%)	367 (69.0%)
天然繊維・革	7.4 (22.9%)	49.5 (13.8%)	12 (2.2%)	0.7 (1.6%)	31.5 (7.5%)	49 (9.2%)
ガラス・陶器	3.5 (10.8%)	6.0 (1.7%)	16 (3.0%)	5.0 (11.2%)	5.7 (1.4%)	0 (0.0%)
金属	3.9 (12.1%)	11.5 (3.2%)	98 (18.4%)	5.0 (11.2%)	50.3 (12.0%)	60 (11.3%)
紙・段ボール	0.3 (0.9%)	3.8 (1.1%)	24 (4.5%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
ゴム	2.1 (6.5%)	8.6 (2.4%)	12 (2.2%)	7.2 (16.1%)	41.0 (9.8%)	53 (10.0%)
木・木材系	0.4 (1.2%)	0.6 (0.2%)	3 (0.6%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
電化製品・電気機器	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	2.0 (4.5%)	4.8 (1.1%)	3 (0.6%)
その他	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
人工物合計	32.4 (100.0%)	358.2 (100.0%)	534 (100.0%)	44.7 (100.0%)	420.0 (100.0%)	532 (100.0%)

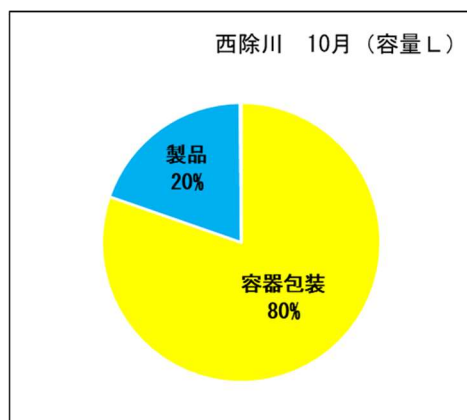
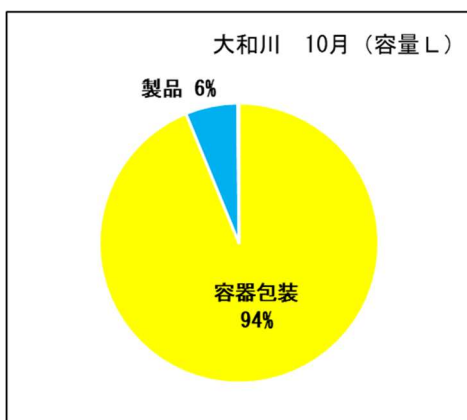
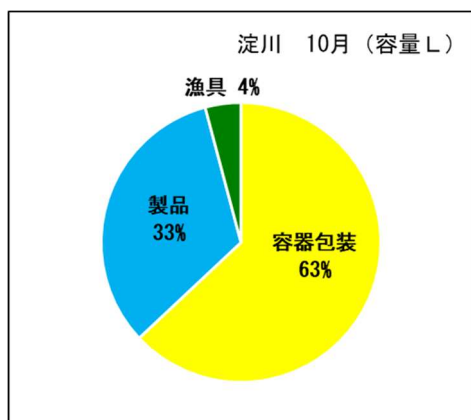
(各項目の合計は、端数の関係により100%にならないことがある。)

(2) プラスチック・発泡類の組成

- ・「容器包装」、「漁具」、「製品」の3項目で分類すると、昨年度と同様、3箇所ともに「容器包装」が容量別の割合で最も高く、大和川が最大で約94%を占めていた。
 - ・分類別の容量でみると、昨年度と同様、3箇所ともにポリ袋（レジ袋やごみ袋等）の数が最も多く、大和川が最大で、プラスチックごみ全体の約66%を占めていた。
- ⇒ 川沿いに生えている灌木等に劣化したポリ袋やレジ袋等のごみが多く引っ掛かっていたため、容量が増加したと考えられる。

表-16 プラスチック・発泡類の分類別組成（淀川、大和川、西除川）

区分	分類	淀川			大和川			西除川		
		重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
容器包装	飲料用ボトル	2.3 (22.3%)	15.9 (9.8%)	30 (16.0%)	2.8 (21.8%)	46.7 (21.1%)	69 (15.4%)	0.6 (12.0%)	7.9 (6.4%)	18.0 (7.6%)
容器包装	その他プラボトル類	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
容器包装	容器類	0.5 (4.9%)	15.8 (9.7%)	62 (33.0%)	0.3 (2.3%)	14.4 (6.5%)	21 (4.7%)	0.1 (2.0%)	5.0 (4.0%)	11.0 (4.6%)
容器包装	ポリ袋	4.3 (41.7%)	70.6 (43.5%)	80 (42.6%)	8.3 (64.5%)	147.0 (66.3%)	341 (75.9%)	2.5 (49.8%)	86.9 (69.9%)	189.0 (79.4%)
漁具	漁網、ロープ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	ブイ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	発泡スチロールブイ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	その他漁具	0.1 (1.0%)	6.7 (4.1%)	※ (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.3 (0.1%)	※ (0.0%)	0.0 (0.1%)	0.2 (0.2%)	0 (0.0%)
製品	カトラリー	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	1 (0.4%)
製品	その他プラスチック	3.2 (31.1%)	53.4 (32.9%)	16 (8.5%)	1.5 (11.7%)	13.4 (6.0%)	18 (4.0%)	1.7 (33.9%)	24.3 (19.5%)	19.0 (8.0%)
	合計	10.3 (100.0%)	162.4 (100.0%)	188 (100.0%)	12.9 (100.0%)	221.8 (100.0%)	449 (100.0%)	5.0 (100.0%)	124.4 (100.0%)	238 (100.0%)



区分	分類	参考：R3淀川			参考：R3大和川		
		重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
容器包装	飲料用ボトル	4.6 (31.1%)	34.1 (12.3%)	66 (17.9%)	1.2 (4.8%)	10.9 (3.8%)	20 (5.4%)
容器包装	その他プラボトル類	0.5 (3.1%)	1.2 (0.4%)	3 (0.8%)	0.1 (0.4%)	1.0 (0.3%)	2 (0.5%)
容器包装	容器類	0.6 (4.1%)	26.0 (9.3%)	52 (14.1%)	0.0 (0.0%)	0.2 (0.1%)	1 (0.3%)
容器包装	ポリ袋	5.0 (33.8%)	101.0 (36.3%)	137 (37.1%)	5.8 (23.4%)	146.5 (51.1%)	251 (68.4%)
漁具	漁網、ロープ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	ブイ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	発泡スチロールブイ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	その他漁具	1.0 (6.8%)	51.5 (18.5%)	※ (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
製品	カトラリー	0.002 (0.0%)	0.1 (0.0%)	2 (0.5%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
製品	その他プラスチック	3.1 (21.0%)	64.3 (23.1%)	109 (29.5%)	17.7 (71.5%)	128.1 (44.7%)	93 (25.3%)
	合計	14.8 (100.0%)	278.2 (100.0%)	369 (100.0%)	24.8 (100.0%)	286.7 (100.0%)	367 (100.0%)

(各項目の合計は、端数の関係により 100%にならないことがある。)

※その他漁具のうち「発泡スチロールの破片」は、環境省の様式上、重量と容量のみを計測することとされているため、個数はカウントしていない。

4-5 海岸漂着ごみの組成調査

泉南郡岬町の海岸にて、汀線（海水面と海浜の境界線）方向の幅 50m、海岸汀線から堤防までの間を調査範囲とし、12月に組成調査を実施した。当該地点は大阪府がR2・R3に組成調査を実施しており、経年変化を併せて確認した。



調査地点



回収されたごみ

(1) 分類別の組成、人工物の組成

- ・自然物の容量別でみると、令和2年度から令和4年度で毎年度ばらつきがあり、令和4年度はごみ全体の約68%を占めていた。
- ・人工物の大分類でみると、過年度と同様、「プラスチック・発泡類」が容量別の割合で最も高く、約71%を占めていた。容量でみると、直近2年間で最大となった。

表-17 2分類別の組成表（岬町）

項目	岬町			参考：岬町 (R3府調査)			参考：岬町 (R2府調査)		
	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
人工物	6.5 (49.9%)	48.6 (32.2%)	406 (100.0%)	3.5 (9.4%)	31.2 (8.0%)	174 (94.1%)	3.1 (32.6%)	30.8 (31.3%)	321 (99.7%)
自然物	6.5 (49.9%)	102.5 (67.9%)	※ (0.0%)	33.8 (90.6%)	357.9 (92.0%)	※11 (0.0%)	6.4 (67.4%)	67.8 (68.8%)	※1 (0.3%)
合計	13.0 (100.0%)	151.1 (100.0%)	406 (100.0%)	37.3 (100.0%)	389.1 (100.0%)	185 (100.0%)	9.5 (100.0%)	98.5 (100.0%)	322 (100.0%)

(各項目の合計は、端数の関係により 100%にならないことがある。)

※自然物のうち「灌木」については、環境省の様式上、重量と容量のみを計測することとされているため、個数はカウントしていない。「流木」については重量、容積、個数全てを計測している。

表-18 人工物の組成表（岬町）

項目	岬町			参考：岬町（R3府調査）			参考：岬町（R2府調査）		
	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
プラスチック・発泡類	2.7 (41.4%)	34.5 (71.0%)	385 (94.8%)	1.4 (40.0%)	20.1 (64.4%)	161 (92.5%)	1.9 (61.9%)	25.5 (82.9%)	297 (92.5%)
天然繊維・革	0.01 (0.2%)	0.1 (0.2%)	3 (0.7%)	0.2 (5.7%)	0.8 (2.6%)	2 (1.1%)	0.0 (0.3%)	0.1 (0.3%)	2 (0.6%)
ガラス・陶器	0.5 (7.7%)	0.9 (1.9%)	1 (0.2%)	0.0 (1.1%)	0.1 (0.3%)	0 (0.0%)	0.7 (22.8%)	1.2 (3.9%)	0 (0.0%)
金属	0.02 (0.3%)	0.5 (1.0%)	1 (0.2%)	0.1 (2.9%)	0.8 (2.6%)	4 (2.3%)	0.2 (6.5%)	1.6 (5.2%)	14 (4.4%)
紙・段ボール	0.01 (0.2%)	0.1 (0.2%)	1 (0.2%)	0.0 (0.3%)	0.1 (0.3%)	1 (0.6%)	0.3 (9.8%)	2.1 (6.8%)	4 (1.2%)
ゴム	0.01 (0.2%)	0.1 (0.2%)	2 (0.5%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (1.0%)	0.3 (1.0%)	4 (1.2%)
木・木材系	3.3 (50.6%)	12.4 (25.5%)	13 (3.2%)	1.8 (51.4%)	9.3 (29.8%)	6 (3.4%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
電化製品・電気機器	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
人工物合計	6.5 (100.0%)	48.6 (100.0%)	406 (100.0%)	3.5 (100.0%)	31.2 (100.0%)	174 (100.0%)	3.1 (100.0%)	30.8 (100.0%)	321 (100.0%)

（各項目の合計は、端数の関係により 100%にならないことがある。）

②プラスチック・発泡類の組成

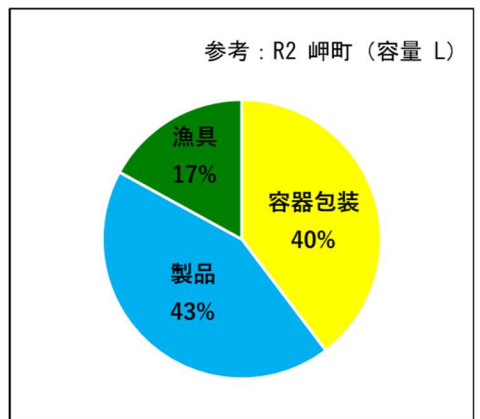
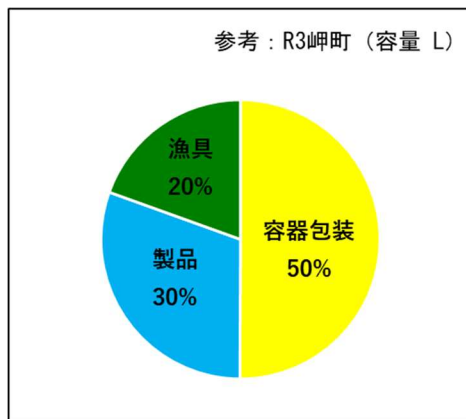
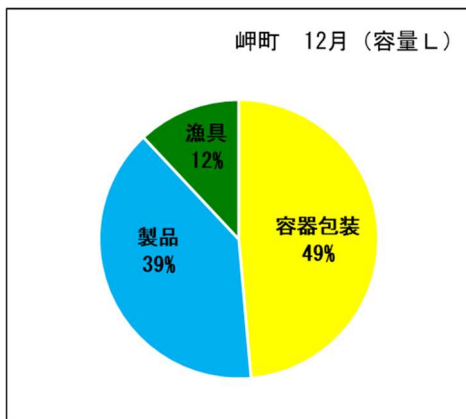
- ・「容器包装」、「漁具」、「製品」の3項目で分類すると、「容器包装」が容量別の割合で最も高く、プラスチックごみ全体の約 49%を占めていた。
- ・分類別の容量で見ると、容器類（発泡スチロール製の食品容器）やポリ袋（食品の容器包装）が多く、陸域で発生するごみが多く見られた。

表-19 プラスチック・発泡類の分類別組成（岬町）

区分	分類	岬町			参考：岬町（R3年度調査）			参考：岬町（R2年度調査）		
		重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)	重量 (kg)	容量 (L)	個数 (個)
容器包装	飲料用ボトル	0.8 (30.1%)	2.0 (5.8%)	4 (1.0%)	0.2 (14.4%)	4.5 (22.3%)	3 (1.9%)	0.4 (21.0%)	2.7 (10.6%)	5 (1.7%)
容器包装	その他プラボトル類	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.1 (5.3%)	1.0 (3.9%)	50 (16.8%)
容器包装	容器類	0.5 (18.8%)	7.5 (21.7%)	192 (49.9%)	0.02 (1.4%)	0.8 (4.0%)	13 (8.1%)	0.1 (5.3%)	2.2 (8.6%)	81 (27.3%)
容器包装	ポリ袋	0.2 (7.5%)	7.3 (21.1%)	98 (25.5%)	0.1 (7.2%)	4.8 (23.8%)	58 (36.0%)	0.1 (5.3%)	4.2 (16.5%)	31 (10.4%)
漁具	漁網、ロープ	0.2 (7.5%)	2.0 (5.8%)	20 (5.2%)	0.1 (7.2%)	1.8 (8.9%)	9 (5.6%)	0.1 (5.3%)	1.2 (4.7%)	27 (9.1%)
漁具	ブイ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	発泡スチロールブイ	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)	0.03 (2.2%)	0.4 (2.0%)	1 (0.6%)	0.0 (0.0%)	0.0 (0.0%)	0 (0.0%)
漁具	その他漁具	0.1 (3.8%)	2.1 (6.1%)	39 (10.1%)	0.1 (7.2%)	1.7 (8.4%)	12 (7.5%)	0.2 (10.5%)	3.1 (12.2%)	28 (9.4%)
製品	カトラリー	0.01 (0.4%)	0.3 (0.9%)	22 (5.7%)	0.01 (0.7%)	0.1 (0.5%)	10 (6.2%)	0.0 (1.5%)	0.1 (0.4%)	27 (9.1%)
製品	その他プラスチック	0.9 (33.8%)	13.3 (38.5%)	10 (2.6%)	0.9 (64.6%)	6.1 (30.3%)	55 (34.2%)	0.9 (47.3%)	10.9 (42.8%)	48 (16.2%)
	合計	2.7 (100.0%)	34.5 (100.0%)	385 (100.0%)	1.4 (100.0%)	20.1 (100.0%)	161 (100.0%)	1.9 (100.0%)	25.5 (100.0%)	297 (100.0%)

（各項目の合計は、端数の関係により 100%にならないことがある。）

※その他漁具のうち「発泡スチロールの破片」は、環境省の様式上、重量と容量のみを計測することとされているため、個数はカウントしていない。



5. 主なプラスチックごみの写真



ペットボトル



容器類



食品容器包装



ポリ袋



その他プラスチック



マスク